

空からの攻撃に耐えられますか？



宍戸 栄徳

香川大学名誉教授
(NPO 遍路とおもてなしのネットワーク
事務局長)

Harunori
Shishido

1 京都西陣界隈の寺院には多くの有名な画家のお墓があります。狩野元信・永徳親子や伊藤若冲、長谷川等伯などです。長谷川等伯は桃山時代に長谷川派を始め、狩野派と対抗するまでになります。狩野永徳と並び称されます。等伯の墓所は西陣の一角にある本法寺にあります。狩野元信・永徳の墓はすぐ近くの妙覚寺の墓所にあり、こちらは以前訪れたことがあります。

2 先日、等伯の墓を見に行こうと本法寺を訪れました。境内の片隅に墓地があったので、等伯の墓を探そうと入口を通り過ぎて行きました。入口は入ってすぐに銀杏の木があり、その梢にカラスが止まっていました。カラスもこちらに気づいたようで目が合ったような気がしましたが、特に気にもせずその下を通りすぎて墓地に入って行きました。帽子をかぶっていたのですが、墓地の中なので帽子を脱いでいました。すると、背後から何か近づいてくる気配を感じた瞬間、カラスが頭すれすれに前に向かって飛び越していきました。頭に何か触れた感触はなかったのですが、頭上すれすれに飛んで行きました。この時点では事態を深刻には受け止めていませんでした。そのカラスは前方の木の上に止まり私の方を見えています。等伯の墓を探そうとカラスに背中を見せたときに再びカラスが頭をめがけて急降下してきました。ここに至って、カラスが偶然頭上を飛んだのではなく、明らかに私を狙っていると気づきました。恐怖心がわいてきて、ゆっくり墓を探している場合でないと思いました。一刻も早くここから立ち去ってカラスの攻撃を受けないようにしなければと考え、カラスを注視しながら、後ずさりをして墓地を出て境内のお堂の方に向かいました。カラスは私を追ってお堂の軒下に止ま

り相変わらず私を見えています。私を狙っていることは間違いありません。私は急いでお堂の反対側に回り、乗ってきた自転車の鍵を外して自転車に乗り境内を出てバス通りまで行きました。振り返ると、さすがにココまではカラスは追いかけてきていませんでした。ようやくほっとしました。

3 カラスを警戒しながら自転車の鍵を外すときに、たとえ自転車で走ってもカラスがその気になれば空を自由に飛べるので、カラスから逃れることは難しいのではないかと思います。幸い、自転車のところまでは追いかけてこなかったのですが、杞憂に終わったのですが、これまで感じたことのない恐怖体験でした。結局、等伯の墓を探し出すことは出来ませんでした。

上空から攻撃されると素手の人間が実に無防備であるかを思い知らされました。あなたは空からの攻撃に耐えられますか？

それにしても、どうしてカラスが私を狙ったのでしょうか？私は墓所の入口でカラスと目が合ったときにも特に挑発するような事はしていません。私の名前は「栄徳」です。カラスが私のことを等伯のライバルだった「永徳」の回し者とも思ったのでしょうか…。



▲本法寺境内にある長谷川等伯の像

中央会だより 1

第69回中小企業団体全国大会開催に伴う

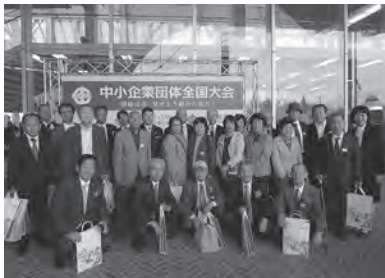
「善光寺と紅葉の名所を巡る大会参加ツアー」参加者募集!!

第69回中小企業団体全国大会が、10月26日(木)に「キッセイ文化ホール」(長野県)で開催されます。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化充実を訴え、組合をはじめとする中小企業連携組織を基盤とした中小企業の安定的な発展と豊かな社会の実現を図ることを目的としています。

本会では大会への参加と交流を深めるため大会参加ツアーを下記のとおり企画しております。

傘下の組合員の皆様にもご周知いただきまして、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。



▲昨年度全国大会参加者



▲キッセイ文化ホール(松本市)



▲善光寺



▲軽井沢雲場池



▲河口湖遊覧



▲忍野八海

1.日程表

日程	スケジュール							宿泊
10/26 (木)	高松駅 6:20/6:46 バス ホテル 17:15/17:45	マリンライナー8号 岡山駅 7:46/8:00 バス	のぞみ116号 名古屋駅 9:40/10:00 (夕食) 山楼海鮮 懐石 萬佳亭 18:00	(昼食/お弁当) ワイドビューしなの7号 松本駅 12:04 バス ホテル 20:15	松本駅 12:04 バス	全国大会 キッセイ 文化ホール 13:00 16:00	長野 東急REIホテル (長野県長野市)	
10/27 (金)	ホテル 8:30 バス 精進湖・西湖 16:45/17:00	バス 善光寺 8:10/9:15 バス 精進湖・西湖 16:45/17:00	軽井沢雲場池 10:45/11:30 (夕食) ホテル 17:15	バス 軽井沢雲場池 10:45/11:30 バス 昼食 11:45/12:30 バス 登美の丘ワイナリー 15:00/15:45	バス 軽井沢雲場池 10:45/11:30 バス 昼食 11:45/12:30 バス 登美の丘ワイナリー 15:00/15:45	登美の丘ワイナリー 15:00/15:45	ホテル レジーナ河口湖 (山梨県富士河口湖町)	
10/28 (土)	ホテル 8:30 岡山駅 17:19/17:42	バス 河口湖遊覧船 9:00/9:20 マリンライナー51号 高松駅 18:41	バス 河口湖遊覧船 9:00/9:20 マリンライナー51号 高松駅 18:41	バス 忍野八海 10:00/11:00 バス 忍野八海 10:00/11:00 バス 昼食 11:30/12:30 バス 三島駅 13:48	バス 忍野八海 10:00/11:00 バス 昼食 11:30/12:30 バス 三島駅 13:48	三島駅 13:48 ひかり473号		

※バスは全行程貸切 ※都合により日程に変更が生じる場合がございますのでご了承ください。

2.参加料(旅行代金) 金130,000円(全国大会参加費含む。)

3.募集人員 30名

4.申し込み締切日 平成29年9月13日(水)

お問い合わせ
申し込み受付先

香川県中小企業団体中央会 小松原、中井
TEL 087-851-8311 FAX 087-822-4377

中央会だより 2

第2回外国人技能実習制度適正化講習会を開催



▲外国人技能実習機構・藤井氏

7月19日、高松国際ホテル(高松市)において、外国人技能実習生受入事業の適正な運営を図ることを目的に講習会を開催し、組合関係者ら約150名が出席しました。

外国人技能実習機構高松事務所・認定課長の藤井敬子氏より「技能実習計画の認定申請手続きについて」をテーマに今年11月1日施行の新しい技能実習制度と現行制度との変更点や実習計画策定における具体的な注意事項、新制度施行後の届出や報告書等の説明があり、出席者は熱心に受講されていました。

中央会だより 3

国東会長、「四国新幹線整備促進期成会」設立総会及び決起大会(於 東京都)に出席

7月6日、四国新幹線の早期導入を実現させようと、四国4県をはじめとする行政と主要経済団体等計46団体で構成する四国一体・官民一体の推進組織「四国新幹線整備促進期成会」の設立総会及び決起大会が経団連会館(東京都大手町)において開催され、本会より国東会長、村井専務理事が出席しました。

設立総会において規約及び平成29年度事業計画等が承認可決され、その後の決起大会では四国選出の国会議員や経済団体代表ら約600人が出席し、下記の要望事項が決議されました。

【要望事項】

1. 四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査に関する平成30年度予算措置
2. 「地方創生回廊」の実現のため、新幹線建設予算の大幅増額



▲会場風景

NEWS

1

フードバンクにうどんを提供

本場さぬきうどん協同組合

まだ食べられる食品が捨てられる「食品ロス」を防ぐため、売れ残ったり、家庭や企業で余ったりした食品を寄付し、生活に困っている人や福祉施設などに提供する「フードバンク」の活動に、香川県内のうどん店や製麺業者などが加盟する「本場さぬきうどん協同組合」が参加し、廃棄する予定のうどんの提供を5月より始めました。

この活動は、組合員が製造する土産用のうどんのうち、賞味期限が1ヵ月を切って店頭で並べられなくなったり、印字や重量にミスがあったりして、これまで廃棄していた商品を地元のNPO法人「フードバンク香川」を通じて、福祉施設や子ども食堂などに届けられる仕組みです。

国の推計でこのような「食品ロス」は、年間500～800万トンに上るとされ、削減が課題となっており、「フードバンク香川」では、昨年度、およそ5.5トンの食品の寄付を受けて、県内の福祉施設などに届けられました。

こうした活動に特定の食品業界が取り組むのは、全国的にも珍しく、県内では初めてということで、本場さぬきうどん協同組合の大峯理事長は「うどんの廃棄には、どの店も頭を悩ませてきた。捨てるのではなく誰かの役に立つのであれば、とてもうれしい」としています。

「ライフサイクル」からみる 中小企業の多様性 ～『中小企業白書(2017年版)』を読んで～ VOL.1

プロフィール

桜美林大学経済・経営学系教授 堀 潔

1990年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。常磐大学短期大学部専任講師を経て1994年桜美林大学経済学部専任講師。2003年より現職。日本中小企業学会理事・副会長。日本経済政策学会理事。著書に『21世紀中小企業のネットワーク組織』（関智宏・中山健編著：同友館）『日本と東アジアの産業集積研究』（渡辺幸男編著：同友館）など。



※文中に記してある図表番号や事例番号は『中小企業白書(2017年版)』に掲載されているものである。本稿ではこれらの掲載は割愛したので、関心のある図表や事例、コラムに関しては、直接、『白書』での確認をお願いしたい。

I.はじめに

平成28年度『中小企業白書』（以下、『白書』と略す）は、『小規模企業白書』と併せて、本年4月21日に閣議決定され、公表された。

わが国経済の全体としての傾向は前年に引き続き「緩やかな回復傾向」にある。この流れを受けて、中小企業の業況、資金繰りの状況も改善傾向にある。また中小企業の倒産件数はリーマンショック以降一貫して減少傾向にあるし（『白書』第1-1-6②図）、経常利益は過去最高だった2015年度と同水準で推移している（『白書』第1-1-7図）。今後、さらなる人口減少が見込まれるなか、わが国経済の成長のためには、中小企業が生産性を高め、稼ぐ力を強化していくことが重要である。このことは昨年および一昨年の『中小企業白書』でも強調されていることではあるが、規模の小さな企業については改善の度合いが小さかったり、業種別・地域別にみると回復傾向にばらつきもあったり、すべての中小企業が同じような方向で推移しているわけではない。また、熊本地震をはじめとする自然災害等の外的要因の影響もみられ、わが国の中小企業の先行きにはまだ不透明な部分が少なくない。

わが国の中小企業の現状をみると、開業率が伸び悩み、中小企業の経営者が高齢化し、廃業が増加傾向にあるなど、わが国中小企業全体の生産性を高める上での課題もある。だからと言って、すべての中小企業がうまくいっていないわけではない。前年の『中小企業白書(2016年版)』でも示されていたとおり、売上高経常利益率が大企業平均を上回る中小企業が全体の4分の1近く、自己資本比率が大企業平均を上回る中小企業は全体の3分の1ほど存在する。言う

までもなく、「中小企業」と一言で言ってもその中身は多様である。こんなご時世でも、好業績の中小企業は少なからず存在する。そのような企業は他の企業と何が違うのか。『白書』の問題関心はそのようなところにある。

今回の『白書』は中小企業の「ライフサイクル」に注目し、わが国中小企業の現状分析を行っている。開業による新しい企業の誕生、既存企業の成長（市場シェアの拡大や新事業展開）、倒産・廃業による企業の撤退といった、企業のライフサイクルの各ステージにおいて企業の事業活動が活発に行われていて、わが国中小企業全体としての新旧交代や新陳代謝が効率的に行われているかどうか、というところに今回の白書の基本的視座がある。

『白書』第1部では中小企業全体の動向についての解説が行われ、第2部では「中小企業のライフサイクル」のステージごとに中小企業の現状が分析されている。以下、それぞれの内容について概観した後、若干のコメントを申し述べたい。

II.中小企業の「多様性」を再認識する(第1部)

総務省「経済センサス」によれば、わが国の企業数は2014年調査時点で約382万社。各種創業支援策の実施にもかかわらず、1990年代以降一貫して減少傾向が続いている。2009年には約421万社あったから、2009年→2014年の5年間だけで40万社近く減少していることになる。ただ、その減少の圧倒的部分は小規模企業（一般に従業員20人以下の企業。卸・小売・サービス業については5人以下）であり、中規模企業に関して言えばわずかながら増加している（『白書』第1-2-1図）。これら企業で働く従業者数は約4,800万人であり、2009年から2014年の間に大きな変

中小企業白書 を読む

化はない。ただ、企業規模別にみると、中規模企業では201万人増加している一方、大企業では56万人の減少、小規模企業では115万人の減少となっており、中規模企業の伸びが目立つ(『白書』第1-2-5図)。

厚生労働省「雇用保険事業年報」を基に算出される開業率で開業の動向をみると、直近の2015年度では開業率が5.2%であり、1993年以来の高水準となった。また、廃業率は3.8%で、やや低水準で推移している(『白書』第1-2-8図)。ただ、開業の動向は業種によってかなり多様で、開業率・廃業率の2つを比べ、業種別に確認すると、開業率・廃業率ともに平均を超え、事業所の入れ替わりが盛んであるのが、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス、娯楽業であり、開業率が高く廃業率が低い業種が建設業、開業率・廃業率とも低い業種は製造業、卸売業となっている(『白書』第1-2-9図)。都道府県別の開業率では、最も開業率が高い都道府県は沖縄県で、続いて埼玉県、福岡県、千葉県、愛知県。廃業率では、最も高い都道府県は滋賀県で、京都府、福岡県、北海道、千葉県と続いている(『白書』第1-2-10図)。企業規模別、業種別、地域別に開業の動向は非常に多様である。

一方、今回の『白書』での廃業の動向についての記述はたいへん興味深い。2009年以降、倒産件数は低下傾向にあるのだが、休廃業・解散企業数は増加傾向にあり、直近の2016年で過去最高の29,583件となっている(『白書』第1-2-11図)。経営者の高齢化が進み、休廃業・解散企業の半分近くが70歳以上の経営者によって運営されており(『白

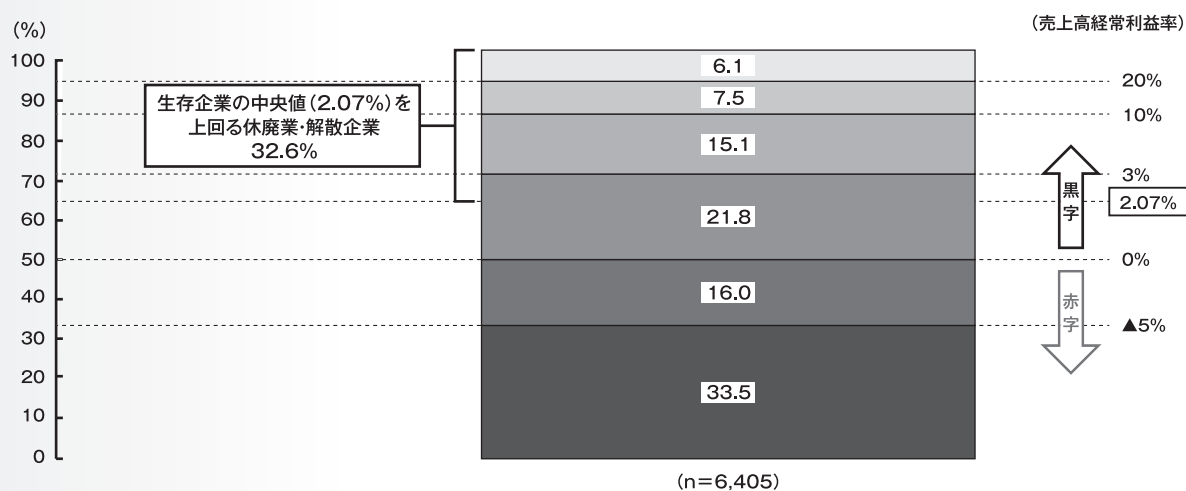
書』第1-2-13図)、黒字・高収益であっても休廃業・解散する企業は少なくない。休廃業・解散企業のうち、廃業直前の売上高経常利益率が判明している企業については、半数が黒字で廃業していた。また、生存企業と比較すると、生存企業の利益率の中央値(2.07%)を上回る高収益の廃業企業は、廃業企業全体の32.6%にも及ぶことが示された(図1参照)。なぜこれほど多くの企業が高収益ながら廃業せざるを得なくなるのか。さらなる分析は第2部を楽しむにするとして、ここでもまた、中小企業は多様である。

総人口や労働力人口の減少が影響し、わが国中小企業の雇用環境はさらに厳しいものとなっている。中小企業では、人手不足感が強まっており、有効求人倍率も高いが、とくに規模の小さな中小企業で従業者数が減少している(『白書』第1-3-10図)。大企業と中小企業の間には全体としては賃金格差があり、ゆえに中小企業から大企業への転職が一定程度あることも事実ではあるが、仕事内容に魅力があり、柔軟な働き方ができる場合には、中小企業が就職先として選ばれていることも明らかになった(『白書』第1-2-18図)。中小企業で働く人々もまた、多様である。

来月号に続く

9月号は「白書」第2部第2章までの中小企業のライフサイクル「起業」、「事業承継」について、10月号は「白書」第2部第4章までの中小企業のライフサイクル「新事業展開」、「人材不足の克服」について掲載予定です。

図1 休廃業・解散企業の売上高経常利益率







資料: (株)東京商工リサーチ「2016年「休廃業・解散企業」動向調査」再編加工
(出所:『白書』第1-2-14図)



運送料や人件費等の経営コストの上昇に加えて、 2017年6月 慢性的な人手不足と内需不振が続く

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●人材確保が難しい。(惣菜) ●乾麺の需要期は夏場であるので天候に期待している。(製粉製麺) ●出荷高は、前年同月比98.6%であった。(調理食品) ●日欧EPAが大枠合意に至る公算が大きくなっている。チーズなどの農産品の関税引き下げ等、将来的な食材の価格に対して冷凍食品メーカーとしてメリットに期待したい。直前の問題として、主要都市冷凍倉庫の保管許容量が大幅に超過してしまっており、7月以降の夏食材などの荷動きの活発化に期待したい。(冷凍食品) ●組合員の業況については、お中元商品が好調に売れている状況が推察される。7月の売上状況が更に回復増加することを期待したい。当組合の生揚出荷状況は、第1四半期を終えた時点で、前年同期比97.4%である。7月の出荷量増加を期待したい。原料小麦(輸入麦)の価格上昇が決定している。(醤油)
	繊維・同製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度の組合員企業の営業実績の集計結果が出たが、産業史上最悪だった平成27年度の出荷数、金額を下回った。対前年比90%程度となった。防寒用手袋の落ち込みが激しく軒並み80%台となり、唯一、廉価価格帯の編手袋のみ価格上昇が見られた。また、スポーツ用手袋の中で、バテイング用、マリン用手袋は対前年比を数量、金額とも上回っているが、ゴルフ手袋を中心に価格競争が激しさを増しており厳しい状況にある。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製材は、前年並みであった。市場は変わらず、やや弱含みである。プレカットは、前年並みである。(製材) ●在来工法の住宅、持家の新築が減少しているため、賃貸住宅、RC工法の住宅が増加しても木材の需要は減少している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月に四国地区印刷協議会の会議が愛媛県で開催され、4県の印刷組合の組合員が集まった。組合活動、色々な問題点を協議して組合員が互いに切磋琢磨する会であり、その内容は、各組合員が共有できるようにしている。(印刷)
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●販売価格は上昇傾向を持続している。各地区の協組共販体制も維持している。(生コンクリート) ●受注量が減っている。梅雨の雨量にたとえるなら、早明浦ダム同様、流入と放流が同時進行のため、一向に上向かない状態である。(ブロック) ●組合員の事業清算が続いている。あじストーンフェア2017では来場者は多かったが、売上には結びついていない。明るい材料が見つけれない。廃業がさらに増加しそうである。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●前年同月比では低下が見られるものの、経営を維持できるだけの受注量はある。課題とすれば、その受注量をこなすための若年層人員だが、新卒、中途採用共に雇用確保が年々厳しくなっている。各社、地道な学校回り等を努めているところである。(鍍金)
	一般機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の製造業は、昨年同期と比べ工事量、売上高共に引き続き変化に乏しく微減で推移している。陸船用ボイラー及び各種用途の熱交換器は、電子機器工場、自動車産業の新規工場の設備が増強される中、ボイラー冷凍庫、発電装置などの設備に導入され順調に生産を伸ばしている。フェンス製品、歩道橋防護柵等の製造業は、全国的な販売網であるが、売上、収益共に昨年同期並みである。民間需要として顕著であった太陽光代替エネルギーの設備が減少しつつある。建設用鉄骨、鋼構造物加工は、5月に続き6月も個人住宅、企業の工場増築及び改築工事が確保され順調に推移した。価格は上向くものと予想されたが、引き続き、中国地区や阪神地区の業者と競合、低価格を啓示するため値上げは難しい。建設用クレーン製造は、海外向けの製品が原油等の資源安から伸び悩みがあるが、国内需要は旺盛で震災復興、首都圏のインフラ整備、製品の買い替え需要により、製造、出荷共に順調である。地場中小の機械加工、部品組立工場は、建設用クレーンの部品加工、造船関連部品加工、自動車、電気関連の部品メーカーから受注が続き、平時の生産量が続けている。造船関連工業は、造船業が直面する景気減速による海上荷動きの減少と船腹過剰により、新規の船舶建造は大幅な落ち込みが予想される。本年末までは工事量を確保しているが、2018年に向け工場の正常な稼働を期すため新規受注の獲得が急務となっている。反面、中小零細規模の鉄工事業所の雇用は、技術労働者を中心に人手不足が生じている。高齢化により技能労働者がリタイアすると受注があっても納入ができず縮小するケースも生ずる。なお、引き続き有期契約社員の受入を進めている。(一般産業用機械・装置)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在は、工事量、人員共に安定しています。しかし、船が竣工したら工事量、人員とも減少していきます。坂出工場は、規模を3割縮小する方向であり、退職による自然減や配置転換を余儀なくされます。(造船)
	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●各組合員とも6月中旬頃よりピークを迎えているが、受注量は減少していると考えられる。(団扇) ●座卓や家具調こたつなど大物の動きが低調である。(漆器) ●6月の業況は、前月の好転から徐々に悪化しています。前半は良かったのですが、後半にかけて動きが悪く、小売業や大手問屋専門業者も同じ状況です。防衛省の資材が入ってきているので、早ければ7月の売上になるかもと期待しています。(綿寝具)
	非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ●梅雨入り、農繁期を迎えて動きが鈍くなったが、一部の野菜を除いては、少し高い水準が生じた。(青果物) ●6月中旬に卸売価格が1~2円値下げされたので、小売価格に転嫁できていなかったものが解消した。よって、収益は、先月より良くなった。大手元売の卸売価格等の見直しがあり、業界間転売品が上昇し、今までのように業界間転売品を使った安売りができにくい環境になっている。アルバイトを含め人員の確保が難しいという意見の組合員が多い。(石油)

6月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-29.2ポイントで前月調査の-25.0ポイントから4.2ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-16.7ポイントで前月調査の-25.0ポイントから8.3ポイントの改善となった。収益DI値は-14.6ポイントで前月調査の-27.1ポイントから12.5ポイントの改善となった。運送料や人件費等の経営コスト上昇が続いている。また、慢性的な人手不足や内需不振も継続していることから、中小企業の先行きは注視していく必要がある。

非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●国内家電需要は、平成22年、23年のエコポイント、地デジ移行特需の長い反動もあり、とりわけ映像、音響分野製品の低迷が長期にわたって続いている。消費マインドの冷え込みは、家電分野に限らないが、耐久消費財買い替え状況の推移を見ても、主要家電製品それぞれの平均使用年数が2年前後伸び、上位機種への買い替えは大幅に減少している。また、6月に入り、エアコンに期待しているが、朝晩が涼しく、前年度を大きく下回っている状況である。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●アパレルが厳しい。春先に少し明るい兆しが見られたものの、ほんのわずかの期間のみでシーズンを通して低迷している。今後もこの傾向は続くものと思われる。EC等の台頭により実店舗での売上は確実に侵食されており、若者向けブランドだけでなく、中高年に支持されてきたブランドも前年数値を確保することは難しく、ほとんどのアパレルブランドが苦戦している。商店街の路面店への出店希望は、絶え間なく続いているが、業種は飲食やサービス(美容、医療、教室他)系であり、物販の引き合いは皆無である。ここ5~10年で商店街から物販の店舗が無くなってしまわないかと危惧するほどの流れの強さを感じている。通行量は増加傾向で、消費マインドは上がってきていると感じている。しかし、買い物の単価は低く、慎重な購買行動が主流である。(高松市) ●近隣のスーパーの改装、オープンが続き、商店街内のスーパーも苦戦しています。飲食店の多くも厳しくなるばかりです。「むらび片原町」も15年が過ぎ4月より改修工事が行われています。高松市生涯学習センター「まなびCAN」も15周年記念講座等で利用者も増えているようですが、商店街としても、この15周年を利用してイベントを考える必要があります。(高松市) ●営業店舗数に変化なし。(坂出市) ●消費は相変わらず弱い。節約ムードが続く中で、いつものように「底で不変」という月だった。第3土曜日の6月17日は、ワールドジャグリングデーで、毎年市内の若手愛好家が商店街でイベントを行っている。飲食以外の店は売上げには結びつかないが、商店街を会場にしてくれるという奇特な人々で、できる限りのサポートをさせてもらった。第三者の若者たちのニーズや、アイデア・発想を聞くいいチャンスでもあり、このような人々を商店街は大切に、お付き合いをしていくべきだと思う。(丸亀市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規参入を狙う同業他社との価格競争が激しくなっている。夏休み商戦前の工事に向け打合せなどが増えてきている。(ディスプレイ) ●6月の売上は、全般的に例年通り、減少している。ただ、その後、若干宴席が動き出していると聞き及んでいる。6月は、例年動きが少なく、7月8月に期待したい。(旅館)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方の景気回復の遅れ等により、長期的に運賃収入、輸送人員が減少しており、非常に厳しい経営状況が続いている。また、乗務員不足が深刻化するとともに、高齢化が進んでおり、事業継続が懸念される状況にある。このため、輸送需要が集中する午前中の時間帯に、十分に対応できていない状況にある。(タクシー) ●平成29年5月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、4.4%増となり、対前月比では4.8%減となった。また、5月分利用車両数対前年同月比は、8.3%増となった。(トラック) ●ドライバーの採用・定着については、改善しない、できないと言われている。適正な運賃の収受が一番で、収入が増すとドライバーの賃金も上げられる。判ってはいるが、同業者の多くは、業界内の競争によって運賃値上げが大変難しい。荷主側もコスト削減を理由に値上げの理解が得られない状況である。大手運送業者が値上げの宣言をしたことを追い風としたい。(貨物)

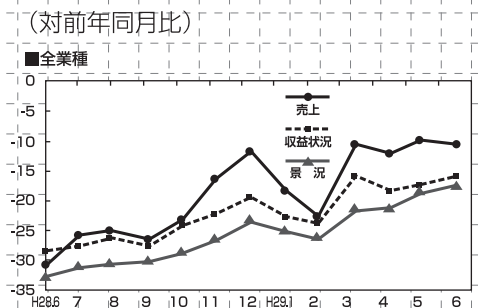
香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品		
	繊維・同製品		
	木材・木製品		
	印刷		
	窯業・土石製品		
	鉄鋼・金属製品		
	一般機器		
	輸送用機器		
	その他		

	売上高	収益状況	業界の景況
非製造業	卸売業		
	小売業		
	商店街		
	サービス業		
	建設業		
	運輸業		
	その他		

※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

全国集計によるDI値の推移 (対前年同月比)



商工中金だより

グローバルニッチトップ支援貸付のご案内

貸出条件概要 10年期限一時返済・金利成功払い型

ご融資期間	原則10年
返済方法	期限一時返済
ご融資利率	成功払い(不成功の場合 0.6%、成功の場合 当金庫所定の利率)
利払い方法	1、3、6ヶ月毎のいずれか(前払)
ご融資限度額	5億円
期限前弁済	原則不可
資金用途	出資金、親子ローン、設備資金、研究開発費
海外事業計画	海外事業計画書の作成が必要です。ご提出いただいた海外事業計画書は、商工中金に設置しているグローバルニッチトップ企業認定委員会における認定が必要です。
適用金利条件	適用金利は、事業の成否に応じた「成功判定」に基づく、1年毎の変動金利とします。
決算書のご提出と金利改定について	●成功判定(金利改定)のため、年一回決算書の提出をお願いいたします。 ●海外事業計画の期間中は、決算書に加えて「事業進捗報告書」もご提出いただけます。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052
高松市瓦町1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 融資制度のご案内 ●

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは各事業までお気軽にお問い合わせください。

○創業支援貸付利率特例制度の概要(国民)

融資対象者	新たに事業を始める方または事業を開始して税務申告2期未満の方
融資限度額	各融資制度に定める融資限度額
ご返済期間	各貸付制度に定めるご返済期間以内
利率(年)	各融資制度に定める利率-0.2% ただし、女性または35歳未満の方およびUターン等により地方で創業する方(注)は各融資制度に定める利率-0.3% (注)Uターン等により地方で創業する方とは、仙台市、東京23区、名古屋市、大阪市、福岡市(以下、都市と言います。)に居住または勤務している方で、都市以外で創業する方をいいます。ただし、東京23区に居住または勤務している方については、東京23区を除く都市で創業する場合も含まれます。

○新事業活動促進資金(経営強化関連)の概要(国民、中小)

融資対象者	中小企業等経営強化法第13条に基づき経営力向上計画の認定(変更認定を含む。)を受けた方
資金用途	設備資金、運転資金
融資限度額	【国民生活事業】7,200万円(運転資金は4,800万円) 【中小企業事業】7億2,000万円(運転資金は2億5,000万円)
ご返済期間(うち据置期間)	設備資金 20年以内(2年以内) 運転資金 7年以内(2年以内)
利率(年)	基準利率 ただし、設備資金(土地に係る資金は除く)については、①国民生活事業は7,200万円まで、②中小企業事業は2億7,000万円まで、それぞれ基準利率-0.9%

○HACCP資金(食品産業品質管理高度化促進資金)の概要(農林)

融資対象者	食品の製造または加工の事業を行う中小企業者(協同組合等を含む)
資金用途	HACCP導入やその前段階の衛生・品質管理のために必要な設備資金 上記に併せて支出される、施設の円滑な立上げに必要な、システム開発費等の費用(特別の費用等) (指定認定機関の認定を受けた高度化計画又は高度化基盤整備計画に基づく事業)
融資限度額	事業費の80%以内又は20億円のいずれか低い額
ご返済期間(うち据置期間)	10年超15年以内(3年以内)
利率(年)	ご融資額 2億7,000万円以下 0.18~0.45%(※) 2億7,000万円超 0.33~0.60% (H29.7.20現在) (※)資金用途により2億7,000万円超の金利が適用になるケースがあります。

〈支店窓口〉

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 (URL:<http://www.jfc.go.jp>)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.087-851-0198 Fax.087-822-9274

中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

FROM青年部

四国ブロック交流会(於 高知県)へ出席

6月30日、ザ クラウンパレス新阪急高知（高知県高知市）において平成29年度四国ブロック交流会が開催され、本会からは木村会長、土居四国ブロック会長、十河副会長、事務局の4名が出席しました。

はじめに四国ブロック会議が開催され、各県中央会青年部の事業等への取り組み状況についての情報交換が行われました。その後の研修会では株式会社日本旅行西日本営業本部 個人旅行営業部 担当部長兼「おもしろ旅企画 ヒラタ屋」代表・平田進也氏より「観光とは光を観るもの。全てはお客様の笑顔のために」をテーマに真心のあるおもてなしの大切さについての講演がありました。

続いて高知県中小企業青年中央会40周年記念式典と併催で懇親会が行われ、終始和やかな雰囲気のもと県を超えた交流をすることができました。



▲四国ブロック会議



▲研修会講師の平田氏



▲懇親会風景

本会青年部は、業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組み、中小企業並びに組合等の振興に寄与することを目的として各種事業活動を行っています。

組合青年部の組成や他組合青年部との交流会開催希望等ありましたらご相談ください。

香川県中小企業団体中央会 事業振興部
TEL.087-851-8311

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	月の満ち欠け	佐藤正午	岩波書店/1,728円
2	未来の年表 人口減少日本でこれから起きること	河合雅司	講談社/821円
3	多動力	堀江貴文	幻冬舎/1,512円
4	おもしろい!進化のふしぎ 続ざんねんないぎもの事典	今泉忠明 監修	高橋書店/972円
5	肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい	西山耕一郎	飛鳥新社/1,200円

香川県書店商業組合調べ

ご活用ください。 産業雇用安定センター

（当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。）

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間
9:00~17:00
（土・日・祝日は除く）

